

科目区分・分類	専門・実習	対象学科名・学年	環境都市4年	科目コード	49501486
科目名	建築設計製図 Design & Drawing of Architecture				
担当教員	西川 嘉雄				
単位数(時間数)	必修 後期 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応	(D-1)(D-2)		
授業の目的と概要	木造住宅の設計を通して、建築設計の過程、製図の習得の他に自分のプランの特徴相手に伝えることのできるプレゼンテーションの方法を習得し、2級建築士に合格できる能力を養う。				
先修科目	建築計画, 設計製図				
後修科目	建築設計製図				
備考	図学と建築設計製図の基礎知識が身に付いていること。				
	授業項目	時間	内容		
1	木造住宅の設計1	2	課題の内容を理解し必要な資料を収集することができる。		
2	エスキス	2	設計課題の条件にあった設計主旨・必要諸室・機能を検討し、エスキスを行う。		
3	エスキスチェックと再検討	4	設計主旨を説明し、エスキスチェックを受ける。再度エスキスを行い最良のプランをまとめる。		
4	木造住宅の設計2	2	木造住宅の作図方法を理解し説明できる。		
5	平面図の作成	4	各室の機能を理解し平面図を作図できる。		
6	立面図の作成	4	立体的に建物をとらえ立面図を作図できる。		
7	断面図の作成	2	適切な位置の断面図を作図できる。		
8	矩計図の作成	2	木造住宅の構造を理解し矩計図を作図できる。		
9	木造住宅の設計3 / 模型の作成	6	設計図をもとに模型を作成することができる。		
10	木造住宅の設計4 /	2	作成した図面と模型を使って設計主旨や建物の特徴を相手に伝えることができる。		
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	建築設計製図に関する基本的事項を理解し、それに基づいて作図ができる。木造専用住宅に必要な機能を満たすような設計ができること。平面図や立面・断面図が作図できること。模型を作製し、設計主旨を相手に伝えるプレゼンテーション(図面と模型による)ができること。面積計算ができること。以上の内容を総合して評価し、学習・教育目標のD-1及びD-2の達成とする。				

成績評価	図面と模型の完成度で評価する。ただし図面（木造住宅平面図，立面図，断面図，矩計図）の重みは70%で，模型の重みは30%とする。また，完成度の低いものは教員の判断により，再提出してもらう場合がある。以上の課題の合計100点満点でD-1及びD-2を評価し，合計の6割以上を獲得した者をこの科目の合格者とする。
教材	考書：櫻井良明編「建築製図基本の基本」学芸出版社 大庭孝雄他「建築設計製図」実教出版 内藤和彦編著「設計に生かす建築計画」学芸出版 日本建築学会編 コンパクト設計資料集成
オフィスアワー	毎週水曜日16:00～17:00，環境都市工学科，西川教員室。